

議会だより 190 号で掲載した

「議会まちカフェ」での住民からの対応報告

総務事業常任委員会
が回答を
求めた

意見

1

環境整備と町の魅力づくりには、けいはんなプラザの日時計や精華大通りのメタセコイア並木があるが観光の資源としての考えは。

●商工推進室が回答

観光資源として認識しており、町公式 TikTok や町内全戸に配布している魅力再発見タブロイド紙「みつける」で取り上げるなど、様々な媒体で紹介しています。

意見

2

防災・災害時のリスク対応、地震対策の強化
豪雨により、道路などを流れる雨に対する対応については。

●危機管理室・建設課が回答

災害が発生した場合には、被害の拡大を防ぎ、被災者を救援し救護するための行動が、直ちに起こせるように、備えておくべきことの充実を基本的な方針としています。

また、国の国土強靱化政策を積極的に活用して、災害対策の強化を図り、住民及び企業に対する防災の意識向上と備えの充実を推進します。

南海トラフ地震が発災した場合、広域複合災害となることが予想されていますが、平素から防災政策の立案や防災訓練等を通じ、国・京都府との連携を深めます。

短時間に大雨が降った場合、水が路面に溢れ出すことがあり、浸水履歴のある低地盤住宅地の排水改善については一定完了しましたが、今後排水施設的能力不足を原因とする道路冠水が発生した場合には改良を検討します。



精華大通りのメタセコイア並木

民生教育常任委員会
が回答を
求めた

意見

1

自治会の組織率が低下している。
高齢者の見守り・安全対策については。

●高齢福祉課が回答

町では、山城木津郵便局、京都生活協同組合や㈱シニアライフクリエイト（町内配食サービスを担当）と高齢者等の見守り活動に関する協定を締結して、何らかの異常を察知した場合は役場に連絡をする仕組みになっています。町社協においては、住民の困りごとと解決活動として行っている「まちの福祉サポート店」の具体的な協力の一つとして、お客さん等に何らかの異常を察知した場合に町社協へ連絡をする見守り支援を求めており、73店舗が協力されています。また民生委員による日常の訪問活動、老人クラブ連合会による会員相互の訪問活動、さらにはご近所の方から役場や地域包括支援センターに直接情報が入る事例もあり、今後も引き続き、住民協力の呼びかけ等、高齢者を見守る取り組みを進めていきます。

意見

2

子どもが勉強できるスペースの確保については。

●教育支援室が回答

学校では放課後や夏休み期間中、希望する児童生徒に対し図書室などを利用した学習指導の取り組みを進めています。また、町立図書館でも館内の一部の席を「自習可能席」としてスペース確保しています。今後も町立図書館の自習可能席を継続し、勉強できるスペースの確保に努めていきます。



町立図書館にある「自習可能席」